

広報

# ただみ

8  
2016 月号  
No. 555  
平成28年8月10日

## 「只見線に手を振ろう条例」を実践する観光協会の皆さん!!

### 今月の表紙

今月の表紙は、7月23～24日に運行した新潟県長岡駅発の「風っこ只見線夏休み号」に、只見町観光まちづくり協会の皆さんが手を振り見送りをしている様子です。両日とも大勢の方が乗車され、只見駅前では同協会の皆さんが、どぶろくなどの振る舞い、風船のプレゼント、抽選会などのおもてなしを行い賑わいました。特に人気だったのが只見町の駅弁「くっつけ只弁」で、大人気により即完売となりました。その他、田子倉コースや日帰り温泉コースなどのタクシープランが用意され、こちらも人気でした。魚沼市からお越しの家族連れの方は、「只見線の雄大な景色を見ながら、只見駅ではおもてなしを受け、良い夏の思い出になります」とうれしそうに話してくれました。

#### <特集>

「地域づくりサロン」事業……………2～3

#### <News&flash>

地域合同防災避難訓練を開催／

消防操法競技南会津地方大会 ほか……………4～9

#### <町の話題>

ふるさと交流都市柏市「柏おどり」参加／

神皇正統記 町指定文化財に認定 ほか…10～11

# 地域の笑顔が集う場所「地域づくりサロン」事業

只見町では、町内に居住する概ね65歳以上の高齢者と、地域住民（ボランティア等）が身近な場所に気軽に集まり、協働で活動内容を決め、ふれあいを通して「生きがいづくり」「仲間づくりの輪」を広げ、地域の介護予防の拠点として機能する「地域づくりサロン事業」を支援しています。そんな地域づくりサロン事業について、今月号でご紹介します。

―実施場所―  
皇大神  
集会所や個人宅など気軽に集える場所で実施できます。

―町の支援（補助内容）―  
○運営費／1回1万円  
○開設準備費／5万円  
※条件がありますので詳しくはお問い合わせ下さい。

―対象条件―  
○5人以上の地域住民で構成された団体。  
○2ヶ月に1回以上実施できる団体。

―実施内容―  
お茶を飲みながらおしゃべりや保健師による健康指導（血圧測定・健康体操）など、地域の特徴に合わせて実施できます。例えば、カラオケ、囲碁、ビデオ鑑賞、食事会、料理教室、体操、グラウンドゴルフ、講演会、地域内清掃、花植えなど様々なことにチャレンジ可能です。

現在この事業を活用して、5団体の皆さんが実施しています。内容も地域の皆さんが主体となって決定し、楽しい時間を過ごしています。実際に実施している皆さんの声を次ページでご紹介します。



△(写真：長浜地区)大きな声で笑い、楽しく体操をする参加者の皆さん!!



▲(写真:小川地区)年1回の小旅行で、R289八十里越工事区間視察に行ったときの写真

今年でサロン9年目を迎えることができたのは、みんなの力だと感じます。サロン単独で実施するのではなく、区全体(活性化委員会)の一つの事業としてやることで、皆さんの協力を得ることができました。参加者だけでなくボランティアの方々も楽しめるように実施しています。



代表  
目黒 甚一郎さん

事業を実施した皆さんの声  
◆小川地区サロン



代表  
角田 和子さん

◆布沢地区サロン



代表  
赤塚 房子さん

◆長浜お楽しみ会

みんなでゲームをやったり、食事をしたり楽しくおしゃべりしながら自分達のペースでやっています。地域の方々にはお茶のみだけでも良いので、気軽に参加して欲しいです。



代表  
横山 圭子さん

◆榎戸お楽しみ会



代表  
渡部 和子さん

◆只見スクウェアダンスクラブ

みんなで元気が出ることをやりたいと思い、ダンスクラブを始めました。区だけではなく体験したい人を広く募集しています。サロン等の開設を考えている方は、形にはまらず、皆で楽しくできることに挑戦してみてください!

夏は畑仕事で忙しく、冬は雪に閉ざされる環境の為、みんなで集まる機会づくりになればと思います。仲間と顔を合わせることで元気がもらえます。実施前よりも地域同士の繋がりが強くなったと感じます。

みんなと顔を合わせる機会が少なくなってきた今、サロンが集まる良いきっかけとなっています。事業を始める際、面倒な手続きは担当者が一緒に最後まで手伝ってくれたので安心でした。



保健福祉課 保健師  
堀金 俊也

―担当者よりメッセージ―

各集落で互いに見守りあい、声を掛け合いながら生活し続けていけるような場として、サロンを作って欲しいと思います。現在は月1回のサロンを各地区で実施していますが、転倒・寝たきりなどの予防のため、筋力をつける体操は週に1回以上実施することで、効果が上がるといわれています。

このようなサロンが定着し、参加される方も実施する地区も増えていくことを期待しています。サロンを検討したい方は、地域包括支援センターまでご相談下さい。実施に向けたお手伝いをさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

◆お問合せ先

(役場保健福祉課内)

地域包括支援センター

☎84-7005

# 地域合同防災訓練を初開催

7月8日、朝日地区内の「朝日小学校、只見中学校、黒谷地区(町・蓮原)、行政関係者」などが連携し、地域合同防災訓練が行われ、総勢約220名が参加しました。

主催は朝日小学校と只見中学校。合同訓練を通して、自分の命を守る「自助」、互いに助け合う「共助」、行政による救助・支援「公助」を理解し、防災意識を高めること、そして平成23年7月に起きた「新潟・福島豪雨災害」の歴史と教訓を後世に語り継ぐ人材育成を目的とし、朝日小学校などが計画しました。

避難訓練は、大雨による水害を想定し行われました。当日朝7時20分に防



▲朝日小学校へ避難する黒谷地区の小・中学生と住民の皆さん



▲1次避難所から2次避難所へ避難する際、小学校高学年は低学年の手を引いて移動しました

災行政無線で水害発生による避難勧告が放送され、黒谷地区の住民は朝日振興センターに避難しました。その後、川の増水のため朝日振興センターから朝日小学校へ避難するよう指示があり、避難者は列になり朝日小学校の校庭へ避難しました。

朝日小学校では、大雨の影響により2次避難所の只見中学校体育館に避難する放送が流れ、小学生・先生方と地域住民は速やかに移動しました。移動の際には、中学生が通路に並び、避難場所に誘導していました。

2次避難所の只見中学校体育館では、避難生活を想定した訓練がされま

した。まず体育館に入ると、中学生が避難者の受付を行い、胸に名前を記入したシールを貼り、全員が避難したか確認を行いました。

その後、体育館や教室など4箇所に分かれ体験活動が行われました。1つ目は、「平成23年7月の新潟・福島豪雨災害」について、防災士の渡部仁一さんによる当時の状況や防災についての説明。2つ目は、只見町赤十字奉仕団の皆さんと一緒に炊き出しの体験で、おにぎり作り。3つ目は、役場町民生活課による、避難生活で使用する「簡易トイレ・テント・食料品」など防災グッズについての説明・体験。4つ目は、消防署による「三角巾や包帯の使い方」など救急処置の方法の説明・体験があり、小学生や中学生、そして住民の方はそれぞれ分かれて体験しました。

最後の全体会で、朝日小学校2年生の伊藤恵衣さんは「家族と一緒にいないときは、地域の人と避難します」と話し、只見中学校3年生の渡部美依さんは「今回の訓練を活かし、有事の際は、落ち着いて対応したい」と訓練の感想を話しました。

今回の訓練は、参加者の皆さんの防災意識を高めたことと思います。有事の際は、まず自分の命を守ることを最優先に、常日頃からの準備が大切と改めて感じました。皆さんもいつ起こるか分からない災害に備えて、避難場所の確認など準備をお願いします。



▲感想を述べる小・中学生と小沼昇さん6名



▲段ボール製の組立トイレ



▲防災士の渡部仁一さんによる豪雨災害の説明



▲包帯の使い方を学ぶ小学生

「八十里越馬子唄」を復元  
完成お披露目を開催

7月3日、町下町民体育館において、「八十里越馬子唄」のお披露目会が行われ約100名が参加しました。

八十里越馬子唄とは、越後吉ヶ平の馬子(荷物運ぶ馬を引く人)が八十里峠を越える時にうたっていた唄で、この唄を後世に伝えていく目的で、町教育委員会から町文化協会へ復元を委託しました。

当日会場では、町民謡会の皆さんによる尺八・唄の生演奏で、馬子唄が披露され、梁取地区の三宅友也さんによるカラオケ指導も行われました。参加された方からは「素晴らしい」「また聴きたい」などの声が聞かれ、閉会後にはCD販売も行われました。



▲八十里越馬子唄を披露する町民謡会の皆さん

只見高校生が日本海から太平洋を横断  
第6回「R289フルコース踏破」

新潟市からいわき市までの国道289号を自転車や徒歩で踏破する事業「R289フルコース踏破」が、7月30日～31日にかけて行われ、只見高校1、2年生19名が参加し、約10kmずつのタスキリレー方式でゴールを目指しました。この事業はR289フルコース踏破実行委員会の主催で、国道289号全線早期開通と、八十里越の周辺環境の保全・活用などを目的に開催され、今年で6回目となります。

初日は新潟県庁をスタートし、八十里越工事区間は徒歩や車両で通行し、明和振興センターに到着。2日目は、同センターから南会津町、白河市を通り、夕方にいわきの勿来の関に無事到着し、沿道からは温かい声援が送られました。只見高校生によるPR効果で、「日も早く全線開通となることを願います。」



▲新潟県庁スタートの様子

産学官連携による商品開発・改善  
ものづくりセミナーを開催

7月25日、福島県などが主催する「産学官連携ものづくりセミナー」が只見町商工会で行われ、約20名が参加しました。

講師に、東北大学大学院工学研究科の堀切川一男教授を迎え、地域産学官連携「福島堀切川モデル」について講演されました。福島堀切川モデルとは、福島島の復興と共に、企業の新製品開発や事業化の成果を生み出すことを目的に、民間企業と大学の専門家、そして地方公共団体などがチームとなって連携するモデルで、企業に御用件に伺い、悩みや失敗談から専門家の意見を取り入れ、そこから製品化に結びつけることで、実際の事例をふまえて説明して頂きました。

堀切川教授は「製品化の目標はあまり高い設定はしないこと」「商品のネーミングにこだわること」などアドバイスを送っていました。



▲講演会前に会津工場を視察した堀切川教授

「只見の産業を学ぼう」  
会津工場・  
会津只見考古館を見学

7月26日、町教育委員会の成人教育事業で、町の今と昔の産業・仕事を学ぶ為に会津工場と考古館の見学を行いました。参加者は夏休みこども教室児童を含む35名で只見学を活用しました。

初めに、現代の産業を学ぶ為、会津工場を訪問しました。会津工場では、世界で唯一「Hプロセス工法」という鋳造法を用い、製品を社内一貫管理する高い技術をもっており、工場見学を通して社員の方からその説明を聞き入っていました。小学生から大人まで熱心に聞き入っていました。

また、考古館では、麻から布にする加工や施設内の展示品、そして遺跡等の見学を通して昔の産業や仕事について学びました。

参加者からは「良い勉強になった」という声が聞こえてきました。



▲会津工場で見学する小学生の皆さん

素早い動作と正確な連携操作を披露

平成28年度福島県消防操法競技南会津地方大会

平成28年度福島県消防操法南会津地方大会が、7月3日に南会津町だいらスキー場駐車場で行われました。

この大会は隔年で行われ、只見町・南会津町・下郷町・檜枝岐村の4町村の消防団員が、消防ポンプなどの機械器具を使用し消火活動の基本となる「消防操法」の技術とタイムを競い合います。只見町の選手は、5月12日の結団式から約40日間の練習を重ねてきました。



▲素早い動作と正確な連携を披露したポンプ車操法

大会当日は、時折雨が降る天候の中で行われ、持ち運び可能なポンプを使用する「小型ポンプの部」に4チーム、消防車のポンプで行う「ポンプ車の部」に3チームが出場しました。

競技本番で只見町チームは、俊敏な動きと絶妙なタイミングでポンプ操作などを行い、最短時間で火点への放水を完了しました。ベストを尽くし操法をやり遂げた出場選手に、目黒消防団長や目黒町長、応援団から大きな拍手が送られました。

小型ポンプ操法、ポンプ車操法の成績と出場された選手は次のとおりです。

▼ポンプ車操法の部：「第3位」		▼小型ポンプ操法の部：「第4位」	
指揮者	佐藤 隆一	指揮者	梁 取麻緒
1番員	堀 金 瞬	1番員	菅 家 健太
2番員	加藤 健 太	2番員	皆 川 龍 夫
3番員	目黒 秀 幸	3番員	酒 井 俊 夫
4番員	五十嵐 順 幸	補充員	八久保 高 志
補充員	三瓶 宏 勝	欠	皆 川 範 仁
欠	五十嵐 友 人		



ポンプ車操法の部



ポンプ車操法の部



小型ポンプ操法の部



小型ポンプ操法の部

▲各選手40日間の訓練の成果を十分に発揮し、只見町の代表としてベストを尽くしました

町内全ての小・中学校が受賞

県教育委員会から良い歯の学校表彰

6月27日、町内4校の小・中学校が、平成28年度福島県学校歯科保健優良表彰の報告で目黒町長を訪問されました。

この表彰は福島県教育委員会等が主催で、学校の保健歯科活動を通し、児童・生徒の歯が健康に守られ、その取組みが認められた学校が表彰されます。今年も、只見小学校と明和小学校が「優秀賞」、朝日小学校と只見中学校が「奨励賞」で、町内全ての小・中学校が2年連続で受賞されました。

目黒町長は「町内全ての小・中学校が、2年連続での受賞は大変素晴らしいこと。学校関係者や保護者の日頃の努力が、子ども達の歯の健康に繋がっているので、今後も宜しくお願ひします」と挨拶しました。



▲受賞報告に来庁された校長先生方。受賞おめでとうございます！

国道252号六十里越雪わり街道  
只見町と魚沼市で清掃ボランティア



▲R252の景観を守る愛する会とボランティアの皆さん

只見町と魚沼市の「国道252号六十里越雪わり街道を愛する会」主催の清掃ボランティアが7月12日、只見町宮淵から魚沼市大白川の間で行われ、両市町合わせ約90名が参加しました。清掃は只見町と魚沼市の両側から行われ、道路沿いの空缶やタバコの吸い殻などを回収しました。

清掃終了後、アイヨシの滝で只見町と魚沼市の参加者が合流し交流会を行いました。交流会で目黒長二郎会長が「今年はゴミの量が減り通行者のマナーが良くなったと感じた。両市町で交流しながら早期再開通の要望に取組んでいく」と挨拶し、魚沼市の皆さんと連携を確認されていました。その後お茶で乾杯し、冷汁とおにぎりを食べながら参加者の懇親を深めていました。

只見の郷土料理を次世代へ繋ぐ  
人材育成ダイヤモンドプラン事業  
第8期生



▲開講式後には1回目の講座が行われました

人材育成ダイヤモンドプラン事業「第8期生」の開講式が6月30日、只見振興センターで行われました。

第8期生12名は「チャレンジ！ふるさとクッキング」をテーマに、只見の郷土料理の作り方や歴史などを2年間学びます。

開講式で角田行雄教育委員長は「只見は農山村文化で、食生活に昔からの知恵や工夫がある。受講生は味と技を学び、次世代に伝えて欲しい」と挨拶しました。また受講生からは「母の郷土料理の味を覚えたい」「農家民泊で子どもに教えたい」「郷土料理を仕事にする為に学びたい」など意気込みを話してくれました。今年度の講座は全8回予定され、基本などを学んでいきます。

只見振興センター新築事業  
「安全祈願祭」開催される



▲地鎮で「鉄入」をする目黒町長

6月29日、只見総合開発センター跡地で、只見振興センター新築工事の安全祈願祭が行われました。

只見総合開発センターは耐震性能に問題があり、既に取り壊されましたが、地域住民の要望を反映した設計がまとまり、今回只見振興センターを新築することになりました。

新築工事の安全祈願祭で、目黒町長は「地域住民の意見を含め計画した只見振興センターが、1日も早い供用開始となることを願っています」と挨拶しました。竣工は来年の3月末を予定しています。

ロボットが田んぼを除草  
「日産自動車×会津大学」  
只見で試験運転



▲ロボットの動きを確認する農業者と開発チーム

7月20日、大倉地区にあるさんべ農園の田んぼ(有機栽培)で、日産自動車と会津大学が共同開発している除草ロボット「アイガモロボット」の試験運転が行われました。

これは、日産自動車の電気自動車の充電機能及びGPS機能(衛星位置情報)による自動運転技術を、会津大学の開発チームが「アイガモロボット」に盛り込み、自動で田んぼを除草する技術で、農作業の省力化を図ることが狙い。今回は試作段階の為、大学生がロボットをコントローラーで操作し、動きを確認しました。

会津大学の藤井准教授は「将来的に、農業用電気自動車からロボットが自動的に田んぼに入り除草するようにしたい」と話され、同大学の中村准教授は「この技術により、農業にも開発にも興味を持つ人が増えれば」と思いを話されました。

## 只見町「只者じゃない」ブランド始動

只見町「只者じゃない」ブランド推進委員会が主催する新ブランド「只者じゃない」産品が、ふるさと交流都市柏市を中心に販売開始となりました。

この事業は、町内の事業者（製造者・販売者）、観光商工団体など9団体が参加し、3年前から只見らしい産品づくりの話し合いや、試作品のテスト販売などを行い、平成27年度に「委員会、ブランド基準、認証基準」を設置しました。

ブランドは、町内の誘客対策と観光産業の魅力向上を図る為、付加価値の高い産品づくりを目的とし、町の魅力と個性を伝え、安心安全をもった産品作りができるよう次の基準を設けています。

### ◆認証基準

- ① 町内の事業所で製造・生産された商品であること。
- ② 着色料・保存料・化学調味料が無添加であること。
- ③ 町内で収穫された原材料を最低1つ以上使用すること。

認証された商品については、ブランドシールやブランドパッケージを貼り販売することができる他、町主催のイベントの際には、「只者じゃない」ブランドとしてPR・推奨される等のメリットがあります。

現在認証されている商品は7品あり、8月以降町内各所でも購入できるように準備しております。

また、推進委員会では新商品を募集しております。申請等の詳しい内容については、役場観光商工課までお問合せ下さい。

### ◆お問合せ先

役場観光商工課観光係  
0241-8215240



▶ 昨年度実施したテスト販売の様子



▲ブランドロゴマーク

## 明和地区空き家活用懇談会を開催

7月7日、空き家となつている小林立落の古民家で、空き家利活用についての懇談会が行われました。

当日は、明和自治振興会、明和地区内在住女性、U・イーターナー者、明和振興センター職員など総勢15名が参加し、古民家の囲炉裏を囲んで意見交換されました。

懇談会では、空き家対策の一つとして、空き家を売り・貸したい人と、買い・借りたい人とをマッチングする空き家情報登録制度「空き家バンク」についての話し合いがありました。只見町全体の空き家は約200軒ほどあり、その内明和地区に55軒あります。明和振興センターで実施した、地区内にある空



▲様々な角度から空き家に対する意見交換がされました

き家所有者などを対象としたアンケート調査の報告では、売りたい・貸したい意思があり、空き家バンク登録に向けて前向きな回答が12件ありました。その後、千葉県柏市からイーターナーで布沢に移住された明和自治振興会の今井博さんからは、空き家バンクの仕組みや空き家の利活用について具体的な説明があり、参加者からも「空き家でシェアハウスが良いのでは」「空き家蔵を酒の保存場所で使えないか」など住居以外の活用意見や、「空き家バンクの情報」は、空き家の状態によりランク付けしてみては「など空き家バンク利用者目線での意見が活発に出されました。

また、意見交換の中で問題点も見えてきました。「空き家に残された仏壇や家具などの問題」「修繕が必要な場合の費用負担の問題」「冬の除雪などの管理の問題」「集落に非協力的な方が移住する可能性がある問題」などがあげられました。

今回見えてきた問題は、明和地区だけでなく、町全体が抱える問題になります。空き家バンクが町の少子高齢化に対する打開策になるよう、考えていかなければなりません。

空き家バンクの制度化は、今年度中の活用開始を目標とし、さらに町全体で空き家の登録を目指します。

## 自然首都で農業を始めてみませんか 新規就農者を応援します!!

只見町では、新規就農者を積極的に支援しています。新規就農者が安心して農業の担い手になれるよう相談受付や助成制度を整えています。U・Iターン、未経験でもOK! 是非お問合せ下さい。

### 1. トマトでの就農の流れ(相談～面接)

#### ◆就農相談

只見町の雪深い気候などを踏まえ、只見町で就農したいという方は、まず下記お問い合わせ先までご連絡ください。

#### ◆就農者面接

南郷トマトの生産組合やJAなどと面接を行い、受入が決定したら次のとおりとなります。

- ・南郷トマト生産組合で研修受入農家を選定します。
- ・住居は、町で空き家を探し斡旋します。
- ・冬期間の仕事についても、相談を受けます。



今年からターンで小川地区に新規就農された村上ご夫妻。事業主として日々トマトづくりを頑張っています!



▲さんべ農園での研修で学んだノウハウを活かしおいしい南郷トマトを育てています

### 2. トマトでの就農の流れ(研修～就農)

#### ◆1年目/農業研修

- ・研修期間は1年間(栽培期間は4月から10月頃まで)。組合から紹介された農家で南郷トマトづくりの研修を実施します。
- ・研修期間は研修費を助成します。
- ・研修期間中にトマト栽培用農地を斡旋します。

#### ◆2年目/事業主として就農

1年間の研修でノウハウを学び、栽培用地や住居を確保して2年目は本格的に事業主としてトマト栽培が始まります。

- ・春にパイプハウスや灌水施設を設置。(助成制度有)
- ・その後は、仲間と相談しながら目標に向かって頑張ります!

### 3. 新規就農の助成制度

- パイプハウスや灌水設備などは、国・県の補助事業を活用しながら、ほぼ全額助成。
- 苗・肥料などの資材について7割助成。
- 借入れた農地代を5年間助成。
- 青年就農給付金の給付(国制度)
- 空き家(住居)の斡旋 …などなど

※年齢や同居親族、導入作物など条件があります。  
詳しくは下記お問合せ先にご相談ください。

福島県南会津農林事務所では日帰り～1週間程度の農業体験プログラム「南会津ふるさとワークステイ事業」を実施しています。

只見町でも実施できますので、まずはちょっとやってみたいという方は、下記までお問い合わせください。

福島県南会津農林事務所企画部地域農林企画課  
TEL:0241-62-5252 FAX:0241-62-5256  
E-mail:kikaku.af05@pref.fukushima.lg.jp

## 「神皇正統記」16世紀の写本 町指定の文化財に認定!!

黒谷の民家から23年前に発見された書物「神皇正統記」の写本が、7月19日に行われた定例教育委員会の中で、「神皇正統記 只見本」として町指定の文化財に認定されました。今後は県指定の文化財を目指します。「神皇正統記」について詳しくは、広報ただみ6月号(No. 553号)P4をご覧ください。



▲「神皇正統記 只見本」



▲ラフティングを楽しむ日本ボーイスカウト那珂3団の皆さん

## 日本ボーイスカウト那珂3団の皆さんが 只見町の伊南川でラフティング体験

7月17日、栃戸地内の伊南川でラフティング体験が行われ、日本ボーイスカウト那珂(茨城県)3団の団員21名が参加しました。小学生の団員はスリル満点のラフティング初挑戦で、最初は水にぬれるのを嫌がっていましたが、最後には「もう1回乗りたい!」と楽しんでいました。

団員の皆さんは、ブナセンターやJパワー只見展示館、遊覧船なども見学・体験し、只見を満喫しました。

## 只見の自然を活かして 草木染め講座を開催

明和・朝日の各振興センターにおいて、坂田在住の安藤由花子さんを講師に迎え草木染め講座が行われました。

6月29日、明和振興センターの講座では玉ねぎの皮を染料に、参加者7名はオリジナルの模様染めに挑戦しました。玉ねぎは「乾燥」させた皮と「生」の皮2つを使い結果、染まり具合はどちらも変わりませんでした。

また、7月14日に行われた朝日振興センターでは5名が参加し、ヨモギを染料に使用しました。模様作りには割り箸やビー玉を使った他、模様を計算して布を糸で結ぶ方法やビニールを使って模様を作るなど様々な手法に挑戦しました。綺麗に染め上がった布には上手く模様が出ており、参加者は出来栄に満足していました。



▲(写真:明和振興センター)玉ねぎの皮

で上手く染めた参加者の皆さん



▲写真で只見の魅力を伝える三井由克さん

## 四季折々の風景写真 「自然首都・只見」写真展を開催

7月18～31日、只見町在住の写真家 三井由克さんの写真展が、季の郷 湯ら里を会場に行われました。

神奈川県出身の三井さんは、只見町に移住されてから四季折々の風景を撮影されてきました。写真展では、只見の自然を様々な角度からとらえた幻想的な写真が並びました。今回の写真展で使用した作品は、ブナセンターに1枚と町観光まちづくり協会で10枚寄付されます。

## ふるさと交流都市との絆を深める

### 2016柏おどりコンテスト出場

7月30日、ふるさと交流都市「柏市」で開催された柏まつりの「柏おどりコンテスト」に、只見町チーム27名が参加し、まつりを盛り上げました。

今年のチームは、去年も参加した只見高校生や町民の方々、目黒町長などに加えて、「地域おこし協力隊」2名が初めて参加しました。

本番では練習した成果を発揮し、結果「友好賞」となりました(昨年と同成績)。柏おどりをとおし、高校生、協力隊、町民の方々とのチーム内の絆が深まり、また柏市民の方々からも声援をもらい交流が深まりました。



▲◀華麗な踊りを披露する只見町チームと初参加の協力隊!

## 交通安全テント村

### 安全運転を呼びかける交通少年団



▲(写真:明和地区)安全運転を呼びかける交通少年団の皆さん

7月21日、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の一環で、町内を走行する自動車などのドライバーに安全運転を呼びかける「交通安全テント村」が行われました。

只見地区は只見ガスセンター前、朝日地区は広域消防署前、明和地区は明和駐在所にテントを設営し、各地区の小中学生による交通少年団などが、交通安全啓発の為にチラシや手作りのキーホルダーなどをドライバーに手渡し、安全運転を呼びかけました。

## 「只見スポーツ少年団」「只見フロンティア」 県大会出場!!

7月16～17日に開催された「白獅子旗争奪」第39回福島県児童ソフトボール南会津西部地区大会において、只見スポーツ少年団が熱戦の末、見事優勝を果たし県大会出場を決めました。県大会は8月6～7日、塙町の町営グラウンドなどで開催されます。(※この記事は7月末時点の内容です。)

また、同じく7月16～17日に開催された第58回福島県早起き野球大会全会津大会において、只見フロンティアが決勝延長戦の末に見事優勝しました。只見フロンティアは8月19～21日、郡山市の開成山野球場をメイン会場とした県大会に出場します。



▲只見スポーツ少年団の皆さん、優勝おめでとうございます!



▲只見フロンティアの皆さん、県大会頑張ってください!

## 新しい看護師さんが朝日診療所に着任しました!

7月1日から10月31日まで朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の吉田成美さんです。会津若松市内の「仁愛高等学校」で看護教育を5年間学び、卒業後は会津中央病院の救命救急センターに勤務され、現在2年目です。吉田さんは「4ヶ月間という短い期間ですが、只見町の皆さんとたくさん触れ合いたいです!」と元気に話してくれました。明るい笑顔の吉田さんをどうぞ宜しくお願いします。



吉田 成美さん (出身/北塩原村)  
直近の目標/医師と看護師を乗せるドクターカーで仕事すること!

## 広報ただみ診療所

朝日診療所

歯科医師 齋藤 さゆり



### 「痛くなくても歯医者で定期健診を!」

今回のお話は、「痛くなくても半年に一度、歯医者さんに来てみてください」というお願いです。

歯科医院を受診される患者さんは、痛みが出て、我慢できなくなってから渋々来られる方が大半です。我慢できなくなるまでの痛みは、症状がかなり進行した状態に多く見られます。痛みや腫れがあると負担も大きく一度に治療を行うことができません。時間も費用も多くなってしまう。また、歯周病は慢性疾患で、自覚症状のないままに進行し、気づいた時にはまとめて歯を失う恐れがあります。

そうなる前に、なんとかしましょう。

健康意識の高い方でも、お口の中に関してはまだまだ意識が低いと言わざるを得ません。「俺は歯が丈夫だから」という方は、そのしっかりした歯を自慢しにいらしてください。

歯科では、歯のクリーニングをして異常がないか観察します。歯周病や虫歯の進行がないかチェックし、

レントゲンで歯根、歯槽骨の状態を調べ土台がしっかりしているかを診断します。所要時間は、およそ30分程度です。一年以上歯磨きのみで放置しておくと、食物残渣が歯石となり歯周病が進行するリスクが高まります。歯石の除去を行うことで、歯周病の進行を予防することができます。歯石は歯磨きで除去することはできません。

歯医者は痛くなってから駆け込むところではありません。痛くならないようにするところです。

一本くらいと安易に考えていると、あっという間に多くを失い、食べたり笑ったりすることが億劫になり、健康そのものを失うことにもなりかねないのです。歯を大切にしてください。痛みのない人も、痛くない今こそ、歯科受診をしてください。今回は特に、今、仕事や子育てに忙しいお父さんお母さんに向けてのお願いとして書かせていただきました。最後まで読んでいただき、ありがとうございます。

## 地域おこし協力隊として vol.21

只見観光振興協力隊  
山科 麻伊



### 『アドバイスをお願いします!』

駅の観光まちづくり協会に勤務している「只見観光振興協力隊」の山科です。私は今、観光協会では観光案内等を行いながら、青少年旅行村いこいの森へのキャンプ場利用者の増加に向けた取り組みを始めました。

この只見町を東京や仙台に住む友人は、「遊ぶところなんかあるの?」とか「仕事あるの?」等と言います。好きな人は知っているが、興味のない人はとことん知らないというのがこの只見町だなと感じています。観光客増加のためには、そういった層の

人たちにも只見に来て欲しいと思うし、なによりその方々に「只見町、想像以上に楽しかった!」とリピーターになって欲しいです。ここは、日光、那須のように有名ではないからこそ「期待を裏切る感動」を与えられる町だと思っています。

また只見に来て3ヵ月、町おこしのアイデアも少しずつ見つけています。「クロモジ茶」づくり、ドライトマト、ブナの森ウエディング等…。このアイデアについて皆様のアドバイスをお願いしたいと思っていますので、お力添えの程宜しくお願い致します。

# 町史

とっておきの話

265

福島県中世史研究会

柳内 壽彦

## 同時代史料が語る只見の歴史④

### 元服理髪状―松本伊豆守と築取弥七郎―

#### 元服理髪状とは

元服理髪状は、元服（男子の成人式）にあたって理髪（前髪をおろす）の親をつとめたことを示す文書です。

#### 松本実輔元服理髪状

元服  
吉日良辰  
築取弥七郎殿

藤原実通

松本伊豆守

源 実輔

右理髪之状如件

天正十年壬午卯月二十三日

天正十年（一五八二年）四月

二十三日、蘆名盛隆の家臣松本伊豆守源実輔（松本実輔）が烏帽子親（元服親）になって築取弥七郎の元服がおこなわれ、弥七郎は実輔の「実」の一字を賜り、藤原実通と名乗りました。元服の烏帽子親は主君がなるのが一般的です。この元服は築取弥七郎が名字からみて伊北郷築

取を本拠とする武士とみられることから、この時期の伊北郷は蘆名氏の支配下にあり、松本実輔はこの地を統治する代官などであったと考えられます。

その後の松本伊豆守と

築取弥七郎

築取弥七郎が元服をした七年後、伊達政宗が天正十七年（一五八九年）六月五日に磐梯山麓の摺上原の戦いで蘆名義広を破ります。このとき政宗は二三歳、義広は一七歳と伝えて

います。この戦いは松本伊豆守と築取弥七郎の運命を大きく変えるのです。

新潟県阿賀町の旧三川村に平等寺薬師堂（国指定重要文化財）があります。この堂内には永禄十年（二五六七年）を最古に三二

の墨書による落書が確認されています。そのなかに天正十七年六月二十六日に松本伊豆守の家

来の「あかい又六」が書いたものがあります。この松本伊豆守は元服の年からわずか七年後のことであり伊豆守の官途が一致することから弥七郎の烏帽子親と同一人物と考えられます。落書

によると伊豆守は政宗に蘆名氏が敗れたあと服属せず牢人となり、会津を逃れ国境を越えて越後に入り、この堂で休息をとったようです。しかし、伊豆守あ

かい又六ら主従一行は越後の上杉景勝に仕えた様子はなく、そ

の後の消息は不明です。

政宗は七月に入ると大沼郡の川口・横田、伊北郷の布沢・築

取などへ鉄砲隊を派遣し攻撃を開始します。八月四日の布沢の戦いでは三〇〇余人を斬り捨てたことが、五日には横田の城が

明け渡されたことが報告されています。七月・八月の戦いで山

内氏は降伏しないものの大勢は

決したよう、九月以降は散発

的な戦いになっていきます。この

のようななかで築取弥七郎は政

宗に降伏し奉公することを決

めます。十二月十一日、政宗は

七郎に中伊北の信濃・築取、下

伊北の大蔵などを与えていま

す。また同じ日にやはり奉公を

決めた築取右衛門尉にも本領の

一部の伊北の二軒在家を安堵し

ています。翌年の三月一日、築

取左馬允は政宗より布沢の久川

内の替地として上伊北内の八乙

女を与えられています。築取一

族は政宗に服属したことがみて

とれます。

平等寺薬師堂の落書を述べま

したが、実は梁取の成法寺観音

堂内にも墨書による落書がある

のです。昨年、只見町教育委員

会と福島県立博物館は赤外線カ

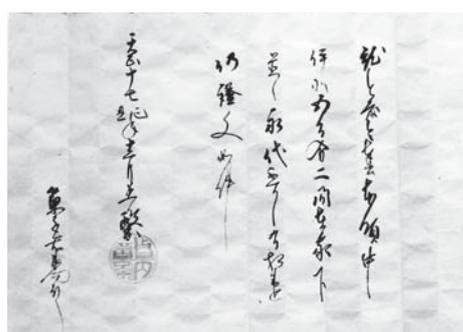
メラを使い調査しました。調査

結果では只見の歴史に新たな史

料をもたらすと思います。



▲平等寺薬師堂（新潟県阿賀町）



▲伊達政宗知行安堵朱印状（町指定文化財）



# 町民文芸

## 只見短歌会

六月詠草

大塚栄一

指導

出詠をやめたる今も枕辺に小さき鉛筆とメモ帳を置く

古川 英子

長き友に弔辞託せど先立たれ老い母夜半に弔辞書きをり

新国由紀子

夏風邪に耐へて己の粥を炊く一人居続き気も弱まりぬ

馬場 八智

出づる日と共に動けばなにがなし善き一日と心安まる

小倉キミ子

今流に物片づけるを断捨離と我れ励み見る物捨て難し

関谷登美子

待ち待ちし雨降りたれば野菜みな萎えし葉広げ一夜に色増す

渡部ゆき子

児童等の踊りの途中楽止まれどをどり続けるに歓声あがる

目黒 富子

雨降りの長く続けば草伸びてマリーゴールドの花おおいなり

渡部ヨリ子

聳え立つ真向かひの山抱くごと雲悠々と碧空移る

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

七月例会

目黒十一

指導

食細くなり来る母や夏来たる

修 一

青嵐肉体使い切りし母

雨蛙かろきに移り葉から葉へ  
釣り忍夫としたしむ酒の味

味代子

笹干して土用の入の日の眩し

一 穂

梅雨の夜や齒間ブラシの刺激痛

父の日や父よりすでに倍も生き  
土を身に負いたるままの蟬の殻

恒 夫

パラソルや木の葉がくれに舟あそび  
簪・手鉤童の頭に水眼鏡

吉 児

手拭でつつむ笑顔や夏の雲  
伽羅路の色つや深き夕あかり

礼

臨終の母に添い寝の梅雨さなか

信

スイカ食む何こともなく日々ありき

夏蕨つまめば山に居る思ひ  
民泊の靴並びをり田植歌

順 子

君の逝く後ろ姿や青田波

都

真夜中の寝返り幾度青葉木菟

# 今月のお知らせ

## 試験

### 社会福祉法人南会津会 職員採用候補者試験

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等を運営する社会福祉法人南会津会では、職員採用候補者試験を次により行います。

#### ●採用予定職種・採用予定人員

- ①看護職員 2名
- ②介護職員 5名
- ③栄養士 1名

#### ●採用予定年月日

平成29年4月1日

#### ●職務内容

- ①看護職員Ⅱ診療の補助、看護、健康管理、保健衛生等の業務。
- ②介護職員Ⅱ利用者の食事・入浴・排せつ介護等の業務。
- ③栄養士Ⅱ献立作成や調理方法の改善、利用者の栄養管理等

#### ●職務は交替制（夜勤有り）

- ②介護職員Ⅱ利用者の食事・入浴・排せつ介護等の業務。
- ※勤務は交替制（夜勤有り）

#### ●栄養士Ⅱ献立作成や調理方法

- ③栄養士Ⅱ献立作成や調理方法の改善、利用者の栄養管理等

#### ●食事提供に関する業務。

#### ●受験資格（次に該当する者）

- ①普通自動車一種免許取得者又は、平成29年3月31日までに取得見込みの者
- ②平成29年4月1日現在60歳未満の者
- ③次の資格を有する者

- ・看護職員は、保健師助産師看護師法に定める看護師免許又は准看護師免許の取得者（看護師養成施設又は准看護師免許を平成29年3月までに卒業する資格取得見込者を含む。）
- ・介護職員は、特に資格要件はありません。
- ・栄養士は、栄養士法に定める栄養士免許取得者（栄養士養成施設を平成29年3月までに卒業する資格取得見込者を含む。）

#### ●次の該当者は受験できません。

- ・日本の国籍を有しない方
- ・禁固以上の刑に処せられた方

#### ●試験の方法・日時・場所

## 電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎82-5220
総務課 総務係 職員係	☎82-5210
町民生活課 税務係 係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課 保健係 係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎82-5240
環境整備課 地域整備係	☎82-5270
生活環境係	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221
訪問看護ステーション	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2130
只見振興センター	☎84-2101
朝日振興センター	☎82-2141
明和振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

#### ▽1次試験

一般教養試験（高校卒業程度）  
日時／9月18日（日）

場所／南会津町田島あだこ館  
（旧田島町中央公民館）

#### ▽2次試験（1次試験合格者）

作文試験・面接試験  
期日／10月23日（日）

場所／南会津町田島あだこ館

#### ●試験結果の発表

1次試験の結果は、10月上旬に本人に通知します。

#### ●受験申込手続について

当法人の施設などで交付する申込み用紙に必要事項を記入し、6ヶ月以内に撮影した本人の写真を貼り、受験資格を確認するため、受験申込用紙に資格を証する免許証などの写しを添付して、南会津会本部事務局（特別養護老人ホーム田島ホーム内）に提出して下さい。

#### ●申込受付期間

8月1日（月）～26日（金）  
迄執務時間中に限りです。郵便による申込用紙提出は、8月24日（水）までの消印のあるものに限り受け付けます。

#### ●申込用紙の交付先

▽南会津会本部事務局  
「特別養護老人ホーム 田島ホーム内」

#### ▽只見ホーム

（只見町大字長浜字久保田1）  
☎0241(63)1118

#### ▽あさくさホーム

（只見町大字長浜字久保田11）  
☎0241(84)7550

#### ▽こぶし苑

（只見町大字長浜字唱平31）  
☎0241(84)2101

#### ▽問い合わせ先

社会福祉法人南会津会  
本部事務局  
南会津町永田字風下3-1-1  
☎0241(63)1118

## 税 今月の納期

8月25日までに  
納めましょう

- 町民税（2期）
- 国民健康保険税（2期）
- 農集排使用料（8月分）
- 介護保険料（2期）
- 後期高齢者保険料（1期）

### 只見おもしろ学クイズ

今回は只見おもしろ学クイズ初級編のクイズです。

#### （問題）

只見川で「ブロッケン現象」がよく見られる季節はいつですか。

- ①春
- ②夏
- ③秋
- ④冬

（答えは17ページです）



フナリン

15〜39歳までの若者で、就業を目指す方や弊所の利用を経て就職した方の、就職に向けたお手伝いや職場定着に向けたフォロー、キャリアアップのためのサポートを行う就労支援施設です。利用料は無料です。一人ひとりの状況等に応じて継続的な支援を行います。まずは一度気軽にお問い合わせください。

○主な支援

- ◆就職を目指す方向け  
個別相談・職場体験・各種講座（PC、ビジネスマナー、コミュニケーション、自己分析、応募書類作成、面接練習等）
- ◆弊所の利用を経て就職した方向け  
個別相談・懇談会・各種講座（ビジネスマナー等）

○お問い合わせ先

会津地域若者サポートステーション  
月〜水・金曜日／9時〜18時  
木曜日／9時〜19時  
土曜日／10時〜16時

☎0242(2)32-0011

# 町長の手帳

## 町長スケジュール〈7月分〉

- 3日 消防操法南会津地方大会(南会津町)
- 5日 只見町土地改良区理事会・総会、  
南郷トマト出荷協議会(南会津町)
- 6日 南会津地方町村議会議員大会(檜枝岐村)
- 7日 長岡国道事務所長来庁
- 8日 会津縦貫道整備促進期成同盟会県要望(県庁)
- 11日 町村長中央研修会、県町村会臨時総会  
(〜12日 東京)
- 13日 南会津地方新規就農者激励会・情報交換会  
(南会津町)
- 14日 朝礼、定例庁議、増子輝彦参議院議員来庁、  
ユネスコエコパーク連絡調整会議
- 15日 南陽会理事長来庁、議会全員協議会
- 19日 福島県雪対策協議会総会(会津若松市)
- 21日 只見剣道大会実行委員会設立会議
- 24日 つながれつなぐれ只見線チャリティーショー(八潮市)
- 25日 ユネスコエコパーク国内ネットワーク会議(東京)
- 26日 南会津会評議員会・理事会(南会津町)、  
只見高校海外短期留学生出発報告
- 27日 八十里越地点開発促進期成同盟会総会(三条市)
- 28日 会津総合開発協議会要望活動(〜29日 東京)
- 30日 柏まつり(〜31日 柏市)

## 「地域おこし協力隊の活躍」

現在、只見町で4人の地域おこし協力隊員が働いている。1人は既に3年目を迎え、山村教育留学制度の充実などに取り組んでいる。今年度採用となった3人は、集落活性化の業務、アウトドアライフの提案、観光交流事業の活性化に向けて、我々とは違った目線で地域課題の取り上げや、魅力の再発見に力を発揮してくれると期待している。彼等の動機などについて聞かせてもらったが、いずれも只見の自然やユネスコエコパークの取り組みに魅力と関心を持ってくれたこと、そして「若さ・好奇心・遊び心・善良さ」を持ち合わせた素敵な人材が只見の地を協力隊として選んでくれたことに感謝したい。田舎暮らしと言えば、かつては退職中高年の方が主流だったが、今は若い世代が都市型生活からの脱却を図ろうとしている。経済や便利さだけでははかれない「生き甲斐」や「働き甲斐」を、農山村の暮らしの中に見い出そうとしている。豪雪地帯の「自然首都・只見」は、今回の地域おこし協力隊の志願に見られるように、よそから見れば、魅力多き町なのだ。この流れを町が受け止めるためには何か必要か、彼等とともに考えることが大切だ。町の雇用の場は少ないが、自然に立脚した農林業の基盤産業とのからみの中で、食、農、観光、ものづくり、ほんもの自然遊び、教育の町内人的ネットワークが形成されれば、「若者の働く場・暮らしの場」は創出できる。

協力隊としての任期は3年間。この人達が任務終了後も只見に残りたい、そして残れるような環境づくりに意を注ぎ、結果、U・Iターン促進に繋がって行けばと思う。

只見町長 目黒 吉久

# 町民の消息

(6月26日～7月25日届出分) 敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

五十嵐 夏生 (男/亮太・真紀) 福井  
菅家 陽輝 (男/大輝・美玖) 黒谷

## ■ご結婚おめでとうございます

小川 渡部 一昭♡五十嵐恵美 蒲生

## ■おくやみ申し上げます

齋藤 きよ子	88歳	亀岡
渡部 ウメ子	88歳	長浜
飯塚 ミツヨ	81歳	坂田
目黒 フヂエ	94歳	長浜
川原田 松男	65歳	小林
酒井 安記	92歳	小亀
星 ハナ子	92歳	長浜
酒井 トメ	103歳	只見
川端 達彦	64歳	長浜
星 トミエ	96歳	二軒家

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成28年7月1日現在

人口 4, 416 (± 3)  
男 2, 161 (+ 1)  
女 2, 255 (+ 2)  
世帯数 1, 816 (+ 2)  
高齢化率 44. 77%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 8 転出 2 出生 1 死亡 4

## あとながき

▽7月は野球の話題が多く、町内の野球人口(ソフトボール含む)は何人いるか調べてみました。結果、小学生から社会人まで含め約170名程いました。

7月の大会では、スポーツ少年団や社会人野球が地区大会で優勝したり、只見高校が強豪校に勝利したりと、只見町のレベルが高くなっているように感じます。野球が上手で強豪校に進学する子もいれば、逆に只見高校に野球留学に来る子もいます。これらが只見高校で合わさってくればと思ふ方も多いと思いますが、只見出身者や只見高校が活躍する話を聞くと本当に誇らしく思います。

(三瓶)

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民憲章

生涯学習推進員  
湯田千穂

明和振興センター  
図書室 ☎86-2111

# おすすめ新着図書

## ★夜を乗り越える



又吉 直樹/著(小学館)

「火花」で芥川賞を受賞して、話題になった著者の新作です。こちらも人気の本になっています。

この本では「なぜ人は本を読むのか」、「読書から得られることは一体どんなものなのか」について書かれています。「火花」が書かれるまでの話も明かされているので、読みごたえのある一冊になっています。

で、読みごたえのある一冊になっています。

## ★森を育てる生きものたち



松谷 雄治/著(岩崎書店)

森では葉っぱを食べる虫や木の実を食べる動物もいるのになぜ森は枯れないのか?など、森の成長や虫のことが書かれている本です。絵もとてもダイナミックに描かれているので、森のを感じることが出来る内容になっています。親子で読んで楽しんでいただきたい本です。

で、読みごたえのある一冊になっています。

★その他、別棟、図書室(旧支所)にもたくさん本を置いております、利用時間は午前9時から午後4時までです。(土日祝日は閉館)ぜひご利用下さい。リクエストも随時受付しています。



只見おもしろ学の  
答え合わせ!!

15 ページクイズ答え

②夏

だよ!!

フナリン

## ヤマセミ (学名: *Megaceryle lugubris*)

[ブッポウソウ目 カワセミ科]



▲川岸の倒木にとまる巣立ち後間もないと思われる2羽のヤマセミ

ヤマセミは、全長約 38 cmでキジバトほどの大きさの鳥です。地味な色合いです。よくみると白と黒とで背や翼に繊細な模様が描かれています。頭部の羽は長く、これを冠羽と呼びます。カワセミ科の仲間は頭が大きく3頭身ですが、冠羽を逆立てると余計に頭が大きく見えます。体の割に脚は短く、枝にとまっているのに座っているように見えます。太く長くくちばしは、魚類を捕食するのにうってつけです。河岸の止まり木から水面を観察し、魚の影が見えるとさっと飛び出して、頭から水に飛び込んで魚を捕えます。

只見町では、只見川や伊南川にかかる電線の上にとまっている姿がよく見られます。河畔林が発達した只見町の河川は、止まり木が豊富にあり、よい狩場となっています。一年を通して生息している留鳥で、決まった場所で採食・休息する習性があり、同じ時間に同じ場所で見ることがあります。盛夏の頃には、巣立った若鳥を見るようになります。若鳥は、脇腹が薄く茶色になっており、親鳥に連れられているのか複数羽でいます。巣は、土壁などに穴を掘ってつくりますが、採食場所である河川から数キロの距離につくこともあります。只見町では、「かーげら」と呼ばれてきました。

企画展示

「只見の昆虫たちー只見自然環境基礎調査の報告」

期 間：7月23日(土)～10月10日(月)

場 所：ただみ・プナと川のミュージアム 2階ギャラリー

詳しくは、  
只見町プナセンター  
までお問い合わせ  
ください

## 第98回全国高校野球選手権福島大会 只見高校が強豪・白河実業に勝利!!

夏の高校野球、7月3日に行われた只見高校の初戦の相手は、昨夏ベスト8の強豪・白河実業でした。初回到1点を先制されましたが、4回に同点に追いつき、5回に逆転。6回にも加点し、そのまま相手に追加点を許さず投打がかみ合った只見高校が4-1で見事勝利しました。試合終了後、只見高校の校歌が球場に流れると三塁側応援席が一斉に湧きました。

2回戦の日大東北(第5シード)戦は、残念ながら負けてしまいましたが、途中の粘りは見事でした。只見町を熱くしてくれた只見高校球児。来年も期待しています!



▲(写真:1回戦の白河実業戦)試合終了後、白河実業から次戦のエールを受ける只見高校球児